

【新型コロナウイルス感染防止対策について（大会運営用）】

埼玉県スポーツ少年団バスケットボール部会

大会本部（地区大会含む）および感染対策責任者（県および地区に設置）は、下記の感染防止対策を行います。

[全体留意事項]

- (1) 大会運営にあたっては、日本スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（令和3年11月5日改訂）」順守の上、感染症対策を講じます。【別紙1】
- (2) 競技実施にあたっては、日本バスケットボール協会「JBA バスケットボール事業・活動実施ガイドライン第4版（2021.9.9作成）」を順守の上、感染症対策を講じます。【別紙2】
- (3) 会場施設のある市町村の利用上の注意事項等（コロナ感染対策等）を順守します。

以下、主な感染対策を示します。

[大会全般]

- 大会会場においては、必ずマスク（品質の確かな、できれば不織布）を着用します。
- 感染拡大防止の観点から、令和4年度の大会（地区大会含む。）は、原則として無観客試合とします。なお、大会参加者へ周知します。
- 試合は、原則として午前または午後に分けて行う。
- 飲食については、間隔（2mを目安、最低1m）を空けて対面を避け、黙食とします。
- 各団（チーム）は、選手（15名以内）、指導者（3名以内）、マネージャー（1名）、引率保護者のみとし、原則25名以内とします。なお、会場の定員（特に小学校会場）を確認します。大会参加者へ周知します。
- 感染対策責任者は、各団（チーム）から提出された「大会参加者一覧表」「健康確認表（個表）」（団員用、指導者用、役員・スタッフ用、保護者用）を大会終了後1か月厳重に保管し、その後、適切な方法で破棄します。
- 大会役員および派遣審判等は、健康確認表（個票）の役員・スタッフを準用します。
- 会場に本部用として、手指消毒液・ポンプ式石鹼・ペーパータオル等を準備します。
- 大会終了後2週間以内に感染者が確認された場合は、大会本部または会場責任者へ連絡するよう周知します。

[参加受付時]

- 受付窓口には、手指消毒液を設置します。可能な範囲で、アクリル板などでしゃへいする。
- 参加者の検温（非接触型体温計がある場合）を行います。この場合、参加者が距離（2mを目安、最低1m）を空けます。
- 換気（窓開け、換気扇）を徹底します。
- 役員・スタッフはマスクを着用します。

[会場・ベンチ]

- 換気（窓開け、換気扇）を徹底します。

- 共用部分（ドアノブ・手すり・椅子・机）を定期的に消毒します。
- ベンチの椅子は、間隔（2mを目安、最低1m）を空けます。前後で配置するなど工夫します。
- TO席もなるべく間隔を空けます。
- 出場選手以外は、マスク着用を徹底するよう指示します。
- 出場チームに手指消毒液および椅子等の消毒液・ペーパータオル等を持参するよう周知します。
- 応援は拍手を活用し、声を出しての応援はしないよう周知します。指導者も同様とします。
- 試合終了後、出場チームはベンチ等を消毒するよう指示します。

[役員（審判）控室・更衣室・トイレ]

- 換気（窓開け、換気扇）を徹底します。
- 共用部分（ドアノブ・手すり・椅子・机）を定期的に消毒します。
- トイレのフタは閉めて流すよう指示します。
- 手洗い場に石鹼等が無い場合は、ポンプ式石鹼を用意します。

[役員・派遣審判等]

- 役員・審判の飲み物は、各自で用意します。会場からの提供はしません。
- 審判は、飛沫防止策として、ホイッスルカバーまたは電子ホイッスルを使用します。
- 本部役員室、休憩・待機スペースでは、距離を空けることおよび対面での食事や会話はしません。

[ゴミの処分]

- 出場チームから出されたごみは、必ず持ち帰るよう周知します。